



好きなものをいっぱいかけたスペシャルバスです。  
 いろいろなものがかかっているとたのしいとおもいました。  
 にじがりばじうまくかけました。 A.T. (14才・骨形成不全症)



No.19 (平成21年)  
 社会福祉法人 鶴風会  
 東京小児療育病院  
 みどり愛育園  
 西多摩療育支援センター  
 後援会  
 -連絡先-  
 東京都武蔵村山市学園4-10-1  
 電話 042(561)2521(代表) 〒208-0011  
 東京小児療育病院内  
 Eメール tcrh@kakufuh.com

重症心身障害児(者)通所

通所事業部長 和田 恵子

私は平成九年に当院に入職し、驚いたことが多くありました。外来の枠は新規では一時間、再来では三〇分と十分な時間を一人一人にかけていること。整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻科の医師がおり治療方針に大きく関わっていること。MRIの機械が入ったこと(常に採算がとれるかどうか心配の種ですが)。院内研修の回数が多いこと。利用者の方々の外出やイベントの機会が多く、それに対し職員が献身的に働いていること。通園やショートステイという制度や利用状況が充実していること。リハスタッフの充実、また彼らの利用者方々への意気込みや責任感が強いこと。別件ですが、医局では食材があつたり遅くまで仕事をしていると鈴木先生や松井農先生の手作りの夕飯やおやつが提供され感激しました。その中の一つである通園は一九八七年に開設され、翌年より東京都の委託事業として実施されています。開設以来、医療的ケアが必要で地域の施設を利用でき

理念

私達は  
**障害児者の生命機能の維持  
 向上と生活援助のための誠実に  
 積極的に取り組む障害児者とその  
 家族を支援します**

- 1頁 重症心身障害児(者)通所
- 2頁 国際ソロプチミスト東京・葵の活動
- 3頁 院内医療安全研修会 宮川高子記念障害者福祉基金
- 4頁 平成二十一年度永年勤続者表彰式
- 5頁 平成二十一年度新入職員紹介
- 6頁 屋上R型テント(財)JKA助成事業
- 7頁 後援会だより 退任・就任の挨拶
- 8頁 ご寄付者名簿

ない重症な方を優先的に受け入れていきます。通園棟は病院の東側にあり、日中は三十五名の利用者さんがおられ賑やかですが、夜間は静まり病棟とは随分違う雰囲気です。現在青年部は三十六名、幼少部は八名が登録され、医療的ケアは人工呼吸器(夜間を含め)を八名、酸素を十一名、気管切開名の十一名がおり、職員は日中(夜)通して、ご本人や家族の支援を行っています。通園の問題点としては、平成二十三年度より通園の制度が変更されること、今後予測される利用者増大の為の登園日数の調整、慢性的な看護師の不足、職員の腰痛、通園棟スペースの使い方等があります。

入職当時驚いたことは職員の変動はあつても現在も変わりなく行われていきます。公立の施設ではできない数々の事を二十年以上に渡り続けているのであり、利用者方々を思いやる精神が根底に強く根ざしていることを改めて考えさせられます。医療福祉制度も当院の運営もいろいろ課題がありますが、この病院の精神がさらに深く根付き発展していくことを願っております。

# 国際ソロプチミスト東京・葵の活動

## 二十周年記念の会に出席して

社会福祉法人鶴風会

理事長 五島瑛智子

ソロプチミストは職業を持つ女性で組織する国際的団体で、日本にも地域ごとに支部があり、それぞれ社会福祉支援のために活発に活動しております。女性医師達が創設した重症心身障害児・者の施設である私どもの鶴風会の事業にも格段のご理解を賜り、多くのご支援をいただいております。

今年には東京・葵の二十周年記念の会に出席させていただき、その理念の高さと実践の歴史をあらためて知ることができました。

社会事業への援助は多岐にわたり、今回は鶴風会を含む十施設が、支援のためのご寄付を受けました。何れも社会的に意義ある事業が選ばれておりましたが、その中で特に私が注目したのは、最近NHKの地球アゴラの組織の中で紹介された、ラオスの山の中の部落に子供達への図書を集めた文庫の建設を二十年にわたって計画、実行されてきた女性、安井清子氏の仕事でした。ラオスの山の中のモン族という少数民族の中で、生活を共にしながら文庫の設立に力を費やしている女性の志と行動とその情熱に心を打たれました。そして、その仕事を二十年にわ

たって支援してこられたソロプチミストの事業にも深い敬意を持たずにはいられませんでした。

戦後生まれの若い女性が二十代で志したラオスの寒村での文庫設立の仕事は戦争を経験した私にさえ、想像もつかない程、困難の連続だった事でしょう。ピエンチャンに住み、モン族文化研究とエッセイの仕事をしつつ文庫建設の地を往復し、日本に帰ったときには、ラオスのモン族の手作りの民芸品などでチャリティバザーを行い、展示会で現地を紹介して、またラオスに戻って行くことを何度となく繰り返し、最近、モン族の志と同じくする青年と現地で結婚され、共にこの仕事を充実、継続していこうとしている事実に驚くと共に畏敬の念を覚えずにはいられません。

文明の恩恵を当たり前のように受け、食物自給率四十％に満たない日本は、年間五千五百万トンの食料を輸入しその三分の一に当たる千九百万トンの食物を廃棄している飽食の国です。何の気負いもなく、ラオスの山村で、子供達の図書館を作るために過ごしてきた半生はあまりに気高く、それに引きかえ、毎日一生懸命働いているとか、忙しすぎるとか言っている私は、頭を垂れるばかりです。



モン族独特の模様で土壁を飾ります  
完成間近の文庫（図書館）



村の男が柱をたて、女が編んだ茅屋根を葺く

### 院内医療安全研修会

医療安全対策委員長 牧野 道子

リスクマネジメント部会主催で六月三十日に院内医療安全研修会を開催し、「誤認防止」というテーマで七つの部署からシンポジウム形式で行いました。

各部署で日常的に誤認防止のためにとりくんでいること、インシデント事例、再発防止のための工夫など自由な演題で発表していただきました。出席人数は九十三名と研修室はさながら満員御礼の混み具合でした。

簡単に発表内容を記します。

薬剤科 調剤業務における類似薬品名との見誤り・取り違い、規格の見誤りを防ぐために、間違いやすい薬品の一覧表の作成揭示し、薬品棚には類似した薬品を隣接して置かないようにしています。昨年末のリスクマネージャー巡視で、二種類の消毒液は容器が似ており現場で誤認のリスクが高いという指摘をうけて、同じ薬品で容器の形状との異なるものに変更しました。

放射線科 撮影の際には利用者さんの氏名ならびに撮影部位を、業務の工程で数回にわたり確認を行います。保護者の方や職員に聞くこと、ベッドフレームの名札、ネームバンドを見ることで確認しています。

検査科 外来看護師からの電話で、脳波検査後の採血について利用者さんの名前を聞き違えた事例をうけて、「採血あ

り」のシグナルを作成しました。また、電話を受けた際には氏名、用件を復唱し、伝達事項用紙に書きとめることとしました。

栄養科 経口食は、病棟別に名札を色分け（五色）し、食事内容（形態、量、主食の種類など）はテーブルの色ならびにその上に記入する枠で分別（十二種類）しています。流動食については、病棟別の名札（五色）を用い、テーブルの色と枠により、粉末タイプ（十一種類）、半固形タイプ（二種類）、液体タイプ（十六種類）を分別しています。また、アレルギー食に関しては、名札の色を変え禁止食品と名前を記載し、代替食品のメモを添え、黄色いトレーに配膳、盛り付け後にアレルギー食品除去確認済みの名札をつけています。

外来 歯科手術の術前検査について利用者さんからの電話で氏名を取り違えるという事例がありました。電話の際には、予約票の日時を確認、氏名を復唱し、用紙に記入することとしました。

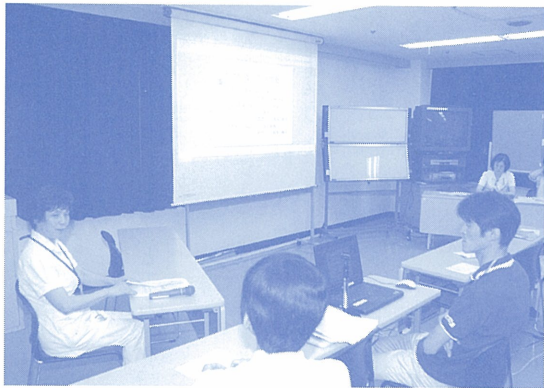
通園 誤注入のインシデントを分析、誤認防止対策を検討し、リストバンドを導入しました。ヒューマンエラーについて職員勉強会を開き、注入に関しては、栄養物の名札を呼称、注入時にはリストバンドで氏名を確認しています。

病棟 平成二十年度の四病棟でのアクシデントならびにインシデント報告のうち、誤認に起因する事例は九割に及び、件数が多いのは与薬と食事に関する

ものでした。病棟ごとにダブルチェック体制を見直し業務手順を作成、実施しています。今後の課題は、四病棟で共有できる再発防止のシステムづくりです。



満員の研修室



発表のようす

## 「宮川高子記念

### 障害者福祉基金」

医療支援部長補佐 秋元美知子

「宮川高子記念障害者福祉基金」とは、東京都内の身体障害者福祉施設の教育機器の購入、施設内の設備拡充などに助成してくださるものです。

西多摩療育支援センターも開設五年を迎え、この四月には六年目に入りました。

利用者さんの高齢化と重度化により、入浴も機械式浴槽を使う方が増えてきました。多くの方が楽しみにしている入浴、少しでもゆったりと入って欲しいという思いがあるのですが、次に待っている方のことを思うと、十分な時間が取れずにおりました。

また、機械式入浴で入っている利用者が「たまには広い浴槽でのんびり入りたいたい」という言葉に、何とか答えてあげる方法はないものかと考えました。

そのような折にこの基金の話があり、電動式で高さの変えられる入浴用ストレッチャーを見つけ、応募しました。この回で基金は終了したから最後のチャンスでしたが、幸いにも受けることができました。

このストレッチャーは、身体を洗う時も安全で介護者が洗いやすく、浴槽に入る時も電動で浴槽の高さまで下げることができ、利用者さんの平行移動で浴槽に入ってもらうことができます。

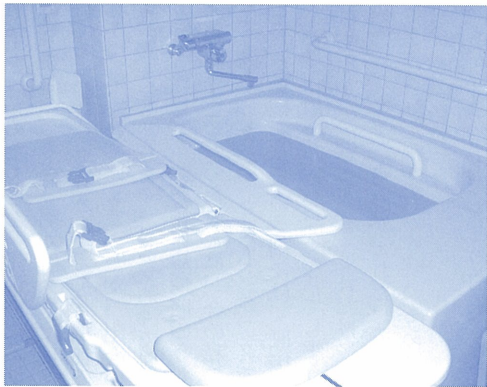
浴槽から上る時も同様に低くしたストレッチャーに平行移動で移し、高さを上げてケアができます。

一方短期入所、特に重症児の入所の部署では大活躍です。

今までは床にマットを敷いて介助していたケースなどでも、このストレッチャーを使って介助できるケースが増えました。柵がしっかりしているため、小さい子供さんたちにも使え、ほぼ毎日大活躍をしております。

#### 短期入所者用浴室（小浴槽）

今までは床にマットを敷いて身体を洗い、抱えて浴槽に入れていました。現在はストレッチャー上で身体や頭髪を洗い、ストレッチャーの高さを下げて浴槽に横滑りに入れることができます。



平成二十一年度の永年勤続者表彰式が四月二十五日に研修室で行われました。今年度の対象者は二十五名で、五島理事長より表彰状と記念品をそれぞれ授与されました。

平成二十一年度永年勤続表彰者

勤続三十年表彰 六名

心理 杉山タズ子  
 療育員 小谷 義広  
 療育員 関口 宏  
 書記 吉野 光敏  
 心理 染谷 昌美  
 療育員 田中 哲

勤続二十五年表彰 三名

洗濯手 馬場崎和義  
 書記 高野 雅明  
 P T 渡辺 裕一

勤続二十年表彰 七名

看護師 松尾 里糸  
 療育員 三瓶 則代  
 療育員 木村 佳子  
 看護師 大山 京子  
 P T 斎藤 直美  
 O T 小泉たみか  
 療育員 中村 光一

勤続十五年表彰 五名

准看護師 酒井 理恵  
 洗濯手 岩井 秀彦  
 准看護師 植田 圭子  
 S W 大川 貴子  
 療育員 若月 育志

勤続十年表彰 四名

准看護師 望月 典子  
 P T 角田 和司  
 療育員 花岡美和子  
 看護師 栗澤 理佳

三十年を振り返って

心理係長 杉山タズ子

先日、三十年勤続の表彰をしていただきました。振り返ってみると、とても早かったように感じます。あと三十年ぐらいあつても・・・

入職当初のことは、今でも鮮明に浮かんできます。当時、東京小児には、幼児と学齢前半の入院児が中心で、一人ひとりの目が輝いていたことを覚えています。散歩や行事にも参加しました。生活に近いところに心理もいました。みどり病棟に関わり始めたころのことでも忘れることが出来ません。青年期、成人期の利用者さんに出会い、何を大切にしたらよいか少し悩みました。でも、その悩みは程なく消えていきました。ここでも一人ひとりの利用者さんが教えてくれたからです。表情で、笑顔で、時には「違うよ」と抗議の顔で。この時期は、利用者さんとスタッフとのチームワークの大切さと楽しさを学びました。そして近年は、外来利用者さんとの時間が多くなりました。いろいろな方に出会い、最近やつとご本人やご家族の気持ちの入り口くらいにいられるようになった気がします。そういう意味で、あと三十年位あると入口のドアを開けて中に入っていけそうな気がするのですが、でも、三十年を短く感じられるのは周囲の方々のご指導やフォローのおかげですから。本当にありがとうございます。あともう少しですがどうぞよろしくお願致します。

勤続三十年に思うこと

通園係長 小谷 義広

(プロローグ)  
 初めてここにきたとき、何だか来たことがあるような感じを受けました。実は、と

なりの東京経済大学のグラウンドには、学生の時、サッカーの試合で何度か訪れたのです。それを知ったのは、しばらくしてからでしたが、学生の頃は、バスに長時間乗って「遠い！」印象しかなかったので、なんだか不思議な感じがしました。

(エピソード1)

さて、一緒に入職した仲間二人の病棟係長がいます。独身看護師が多い職場だったので、三人で、「ひっかかれられないように気を付けよう」と話していたのですが、三人とも見事に看護師の毒牙にかかってしまったので、恐ろしい話だと思えますが、すばらしい出会いを与えてくれたこの職場に感謝しています。

(エピソード2)

私は、育務部に所属、児童指導員として病棟を担当し、東病棟・学童病棟・西病棟・みどり二病棟・東二病棟と移動しながら経験をつませていただきました。育務部と看護部療育係が一緒に新しい療育部が発足することが間近に迫った二〇〇〇年秋ごろ鈴木総括施設長（以下鈴木先生）に呼ばれて、「通園に行つてほしい」との指示があったのですが、そのときの最初の一言が、「いくつになりましたか」「〇〇になります」と答えると、「ちょうどいい年齢ですね」と切り出されました。それから三年後、また鈴木先生に呼ばれると、「いくつになりましたか」「ちょうどいい年齢ですね」・・・三年前と同じです。案の定、「東一病棟に三年間行つてくれ」という指示でした。ちょうど自立支援法の施行と重なりここでも良い勉強をさせていただきました。これからも、いろいろと学んでいきたいと思っておりますが、次の移動のときは、違う切り出しでお願いいたします！

(エピソード3)

三十年の間にはいろいろな出会いと別れ



がありました。東京小児時代には、藤永先生をはじめたくさんの先輩方にお世話になりました。みどり病棟時代には現在の中堅どころが次々と入ってきて、現在の療育を支えてくれています。ただ、出合いがあれば別れもあります。同じ病棟で働いていた療育科長が、発見後短期間のうちに骨の腫瘍で亡くなったことは、今の私の年齢より若かったのもとてもショックでした。また、長年勤めている割には、直接関わっている利用者の方がなくなってしまう機会は少なかつたのですが、それだけに印象深いものがあり、自分がどれだけのことをしてあげられたかを省みる時でもありました。

(エピローグ)

現在は、鈴木先生との約束通り、通園事業部で働かせていただいています。厳しい社会情勢ですが、通園の利用者・ご家族のためにこれまでの経験を少しでも役立てられ、今後の事業展開にも生かしていけたらと考えています。

# 平成21年度新入職員の紹介

## 東京小児療育病院

氏名	採用日	職種
関矢幸子	H21/04/01	書記
重森健介	H21/04/01	P T
山崎将輝	H21/04/01	O T
片桐彩	H21/04/01	看護師
前畑貴子	H21/04/01	看護師
高橋尚子	H21/04/01	看護師
小野智子	H21/04/01	看護師
甲斐容子	H21/04/01	看護師
大塚有子	H21/04/01	看護師
山内陽子	H21/04/01	看護師
岸明日香	H21/04/01	療育員
鈴木健治	H21/04/01	療育員
成瀬みずな	H21/04/01	療育員
堀江風	H21/04/01	療育員
伊東文子	H21/04/01	療育員
佐藤雅美	H21/04/01	療育員
齋藤淳一	H21/04/01	療育員
岩浪章子	H21/04/01	看護師

氏名	採用日	職種
渡邊ゆかり	H21/04/01	療育員
郡美和子	H21/04/01	看護師
竹宮直美	H21/04/01	保育士
田岡由佳	H21/04/01	O T
宿谷みつえ	H21/04/06	准看護師
猪又里佳	H21/04/08	准看護師
奈須康子	H21/05/01	医師
吉田栄子	H21/05/01	看護師
齋木篤信	H21/06/01	看護師
榎田真奈美	H21/06/01	准看護師
久間有美	H21/06/01	看護師

## 西多摩療育支援センター

氏名	採用日	職種
岩本さとみ	H21/04/01	書記
辰野雅彦	H21/04/01	O T
川崎祐季	H21/04/01	O T
田中愛美	H21/04/01	療育員
青木香子	H21/04/01	療育員
小野寺史勤	H21/04/01	療育員

## 外来駐車場有料化のお知らせ

当院駐車場をご利用の皆様には、長期にわたる混雑により大変ご迷惑をおかけしております。混雑解消と適切な運営管理を目的として整備し平成21年6月1日(月)より有料化を実施いたします。利用者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

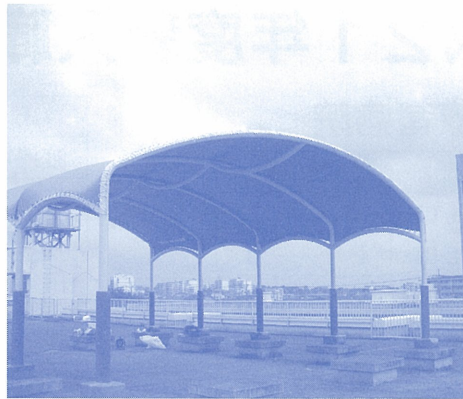
### 【外来駐車場料金】

- 入庫から30分までは無料とする。
- 入庫から2時間までは100円とする。
- 入庫から2時間以上は200円とする。





お花見と贈呈式



病棟屋上 R 型 テント

病棟屋上に常設の R 型テントが建設されました。これは、東京小児療育病院・みどり愛育園父母の会より、ご寄贈されたものです。これで雨天や日差し強い日でも屋上で、楽しむことができるようになりました。

## 屋上 R 型 テント

## 財団法人 JKA 助成事業

完了のお知らせ

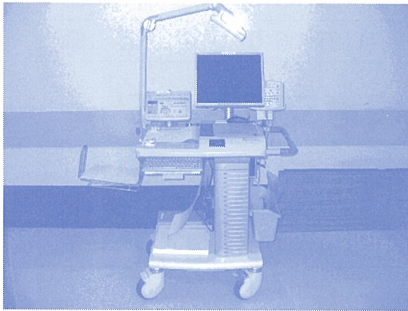
この度、財団法人 JKA から、平成二十年年度助成金の交付を受けて、下記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に財団法人 JKA をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

### 記

事業名	平成二十年年度機器の整備
事業内容	脳波計一式
事業費総額	六、九五二、〇〇〇円
助成金額	五、二一四、〇〇〇円
自己資金額	一、七三八、〇〇〇円
完了年月日	平成二十年十一月二八日

JKA・旧日本自動車振興会



## 助成事業・ご寄贈の報告

### 社団法人東京馬主協会

平成二十年十二月二十四日  
トトロ掛時計  
クリスマス CD セット

### (株) 日立製作所 親切会関東支部

平成二十年  
フルハイビジョンテレビ 一台  
デジタル液晶テレビ 三台

### 東京都

民間社会福祉施設設備改善整備費事業  
特殊浴槽 二台  
ストレッチャー 四台

有り難うございました。

## チャリティーバザー&みどり祭のお知らせ

開催日 平成21年09月27日(日)  
10:30~15:00  
会場 村山特別支援学校  
(東京小児療育病院隣地)

チャリティーバザーでは、ご寄贈品を受け付けております。ご協力お願いいたします。  
イベント・作品展・模擬店など企画しております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

お問い合わせ  
総務部 TEL 042-561-2521

## 西多摩療育支援センター祭のお知らせ

開催日 平成21年10月18日(日)  
10:30~15:00  
会場 西多摩療育支援センター1階

イベント・作品展・模擬店・チャリティーバザーなど企画しております。  
多数のご参加、お待ち申し上げます。バザーのためのご寄贈品受け付けております。ご協力お願いいたします。

お問い合わせ  
事務局 TEL 042-559-2241



社会福祉法人 鶴風会  
後援会 だより

貧者の一灯

社会福祉法人鶴風会 評議員

島田 敏雄

昭和の初期、上野公園の西郷さんの銅像の傍へ上がる石段に、空き缶を前にして物乞いが何人も座っていた。子供心にも気味が悪かった。手首から先の無い人もいた。

現在外国の観光地でも同じような光景に出会わず。道端に素裸の五、六歳の男の子が、足下に空き缶を置いて立っている。そこを通り過ぎると父親らしい男がこちらを服を着ているが、やはり空き缶を置いて立っている。

別の国では、明らかにハンセン病と判る女性が通行人に物乞いをしている。

さらに別の国では、乳飲み子を抱き、暗い目をした若い母親が、歩行者に瘦せた手を差し出してている。私が目にするのは世界中に散らばるこうした人たちのほんの一部にすぎないのであろう。地球上の人類すべて幸せな生活を謳歌できる日を期待するなど、夢のまた夢か。しかし五体満足に生を受けた人はまだよい。自分で呼吸することさえままならぬ障害を持って生まれた人がいる。

「神ありと言い張る友を説き伏せしかの道端の栗の木の下」と歌人は歌った。神ありとすれば、神様も罪なことをなさるものだ。

しかし神はある。気管切開を受けた重症心身障害児に寄り添って、喀痰の吸引をしている看護師の姿を見たときの衝撃を、私は忘れることができない。普通は思わすためらってしまうようなその仕事を、その人は何の気負いも銜いもなく、微笑みを浮かべながら優しく自然にこなしていた。神はここに坐した。

ハンフリー・ボガードの「俺たちは天使じゃない」という映画で、三人の悪党がなにかのはずみで神様の御意にかなない、頭上に金冠を頂く結末があった。その看護の姿を見て以来私は、東京小児療育病院をはじめとする鶴風会各施設の職員の方たちの頭上に、輝く金冠をみるようになったのである。その方たちの崇高な志の足元にも及ばぬながら、せめて私も貧者の一灯を灯し続けようと思うのである。

退任の挨拶

前総務部長 赤間 章宏

皆様、大変お世話になりました。平成二十一年七月三十一日付をもって退任いたしました。

私と鶴風会とのかかわりは、平成十五年四月一日に「西多摩療育支援センター」開設準備室事務長を拝命し就任した時から始まります。センターは「上代継診療所」「身体障害者療護施設・楽」「重症心身障害児(者)通所施設・もえぎ」による合築施設であり、法人としてこのような施設の運営は始めての経験でありまして、十六年四月の開設まで多々困難がありました。その度に準備室職員一人ひとりとの強い結束を持って対処し開設を迎えた時は考えひとしおでありました。

その後、十八年十一月からは村山に転勤となり、鶴風会全体の施設運営に関わり、皆様の力強いご支援・ご指導のもと、事業執行できましたことに深く感謝申し上げます。

都庁時代から通算し四十六年を超える永い年月が経過しました。ここで一息休憩し、新たな第三の人生に向かって行きたいと思えます。

終わりにになりましたが、皆様には、くれぐれもお体をご自愛いただき、益す益すのご活躍と、併せて鶴風会のご発展を心からお祈り申し上げます。ありがとうございます。

就任の挨拶

総務部長 大村 信夫

総務部長に着任して半月が過ぎました。鶴風会におけるいろいろな経営課題が少しずつ頭に入ってきました。予想以上の責任の重さを痛感しています。

この数年、日本経済は「未曾有」の危機の最中にあるでしょう。政治的社会的な緊張も強くなるでしょう。国民全体が新しい社会システムを模索しているのです。福祉は、とりわけ、障害児者施策は、社会の安心を形成する基盤として、より一層充実させていかなければなりません。第一線である私たちの役割は非常に大きいと思います。ともに汗を流しましょう。

チャリティーコンサート  
～オルフェの会～

と き 平成21年12月 6日(日)  
受付時間 11:30  
開演時間 12:00  
と ころ 新高輪プリンスホテル  
出 演 費 テノール三銃士のガラコンサート  
会 費 25,000円

鶴風会後援会へ「寄付者」芳名  
平成20年12月〜平成21年5月  
名(五十音順・敬称略)

相沢ミツエ・青木 悦・青木りう子  
浅川 恭行・浅島 裕雄・浅見 薫子  
朝山 浩行・足高 毅・阿部 正和  
安部 良治・飯田 和成・飯田美保子  
五十嵐良典・井澤 正博・石北 寿子  
石田哲郎・永美子・石原 良子  
板垣 登稔・伊丹千寿子・伊藤 圭子  
伊藤 元博・伊藤 治男・伊藤 正俊  
井上 康子・医療法人社団 大谷会  
大谷 宏明・上芝 元・上園 春海  
上野 洋子・内 孝・内ヶ崎仁子  
馬嶋 順子・梅田 嘉明・梅田 正法  
梅田みほ子・江川 巖・江口 環禧  
海老根東雄・大久保 泰・大島 誠行  
大山 みつ・小川 浩・小川美恵子  
奥村 研三・小原 該一・笠原 綾子  
鹿島田忠志・勝田三枝子・勝目 幹郎  
加藤 尚之・加藤 光子・金森 勝士  
金子 晴生・金子稜威雄・金親 正敏  
鎌田 直子・川生つや乃・菊池 洋子  
岸 芳正・北野千賀子・鬼頭 秀明  
木村 裕・木山 博夫・久保 修一  
黒瀧 俊彰・桑原 耕三・小泉 一介  
小泉 美子・小菅 孝明・後藤加寿美  
小林久美子・小林 静江・小林純二郎  
小林みゆき・小林 陽一・駒林とめ子  
西條 公勝・斎藤 則善・先山 隆司  
笹島きよ子・佐藤 忍・佐藤 中  
佐藤 恭子・佐藤 重雄・佐藤 芳子

佐藤 麗子・繁田裕美子・志鳥真理子  
渋谷 昌良・島田 敏雄・清水 一輝  
志村 裕基・末吉 実子・杉本 貴子  
杉本 寛子・杉山卓也・尚子  
鈴木 稔・鈴木カツ子・鈴木 秀明  
鈴木恵美子・炭山 嘉伸・炭山 朋子  
千 哲三・泉水 昇・高木 利明  
高月 誠・竹内 忍・武田 毅  
竹中希久夫・竹本 照子・多田 久人  
館野 昭彦・田中 富子・田沼 博  
田部 秀山・晁 桜 会・塚越 実  
月花 亮・月本 一郎・月本 伸子  
堤 俊一郎・鶴岡 康子  
帝国女医専22年会・登坂 邦雄  
長岡 貞雄・中里恵美子・中島 桂子  
中谷 尚登・中野 敏江・長野 文子  
中村 映子・中山 公・並木 温  
西平 守夫・西宮 常代・丹羽 修  
野口 道子・野中 杏栄・野中 博子  
野村 直子・延 明子・延島 幸子  
萩原 マチ・萩原 マチ・橋口 玲子  
蜂矢百合子・羽島 順子・浜田 雅  
早川 浩市・林 鴻程・早原 千鶴  
原田 孝・原田千鶴子・原田裕美子  
原山 国秀・東出 祥子・平田 徹  
福井 卓也・福田 静子・福田 美枝  
藤田 親代・星田 宏・前田 澄子  
増田登志子・松島 英乃・松原 龍弘  
松本 章・松本 知子・丸山 和子  
丸山 征爾・美島 利通・水野久美子  
水野 惇子・水野 孝子・水上 淳子  
水上 淳子・宮川千鶴子・三宅 三  
宮本 みち・三登 和代・向山 徳子

向山秀樹・和代・村井 昌允  
村川 公一・村川世津子・森 克彦  
森 紘子・森 紫珠子・森岡 愛  
盛川 温子・森澤 豊・守屋 孝子  
諸岡 チカ・諸富 杏子・保田うた子  
安土 達夫・柳田 謙蔵・矢野 春雄  
山崎 公子・山村 憲・山本 高裕  
山本みどり・湯浅 玲奈・横山ちとせ  
吉澤 熙・吉田 宏重・吉田 道子  
吉田 友英・吉見 梓・楽満 礼子  
渡邊古都江  
社会福祉法人鶴風会へ「寄付者」芳名(法人団体個人)  
平成20年12月〜平成21年5月  
名(五十音順・敬称略)

医療法人社団 永生会  
東邦大学医療センター 大森病院  
なごみ訪問看護ステーション  
東京小児療養病院・みどり愛育園父母の会  
父母後援会・阿部美代子・板垣 祝夫  
板垣 紀夫・伊藤九一郎・岩本 江つ  
海老原明次・岡松 真二・小沢 浩  
上岡 謙夫・神谷 節子・斉藤 雅彦  
佐久田正義・佐々田キク子・佐藤 登  
清水 宏・清水 光雄・真下 一夫  
鈴木 康之・清宮 祥子・高橋拾見子  
長 博雪・野見山捷昭・橋詰 国男  
舟橋満寿子・前田 稔・松尾 賢二  
松本 誓子・森田 英雄・山田美智子  
山谷 敏男・吉永 勇男・高橋 孝彦  
守田 洋・海老原健介・海老原明子

### 編集後記

「移り行く季節の中で」  
桜の花びらが散るかのごとく、人の往来が続いた三月・四月を過ぎ、菖蒲の彩りを過ぎて、雨の大好きな紫陽花が似合う季節と一緒に蒸し暑い季節がやってきたと思う今日この頃。  
これから暑い夏に向かって働きありのように、一つ一つを積み上げて現状を維持し、さらには、これからの展望を見据えていくべく礎を築く時。梔子や柘榴のような華やかさはなくても、一花一花咲いていく朝顔のようにつるを伸ばして邁進しましょう。

